

# 庄内の良さ知って

## 大使館員ら招き観光地体験

日本に駐在する大使館員らを招いたツアーが29、30の両日、庄内地方を舞台に行われ、シンガポールやドイツなど5カ国の大使、公使らが庄内の歴史、文化に触れた。

県は昨年度、羽田空港に国際線を就航させている国々の大使館などを訪問。今回はその際のつな

り活用し、大使館員らを招いて庄内の観光地を体験してもらい、その状況をインターネットで国内外に発信することも

に館員からも母国でPRしてもらい、東日本大震災後の風評被害払拭と庄内

一羽田便を活用した各国からの誘客を進めようと、庄内観光コンベンション協会

との共催で「庄内本間美術館の庭園「鶴舞園」を觀賞する大使ら

内ツアー」を実施した。シンガポール、マレーシア、ドイツ、オーストラリア、リトアニアの大使、公使、参事官らと各夫人の計10人が29日、山形新幹線で来県。全員が庄内は初めてという。戸沢村で最上川舟下りを楽しんでから庄内入り。映画「おくりびと」のロケ地になった酒田市のNKエージェンツビル(旧割烹小幡)や相馬樓、本間美術館、山居倉庫などを見学した。



このうち本間美術館では田中章夫館長が案内。回遊式庭園で国指定名勝の「鶴舞園」や、昭和天皇が皇太子時代に宿泊して以来、酒田の迎賓館として多くの貴賓・名士を

迎えた本館「清遠閣」を回しながら、庭園や建物が冬期間になると任事がなくなる港灣労働者たちの失業対策事業として築造されたことなどを解説した。

使らは一様に「とてもきれいで静か」「田んぼが多くてびっくり」「退職後に住むにはいい所」などと感想。シンガポール大使のチン・シアットユーンさんは「昔の日本の良さを味わえる。そうい

ったことを観光面に生かしては」と提言した。湯野浜温泉に宿泊した一行は30日、鶴岡市の出羽ノ雪酒造資料館、致道博物館、ミシユラン・グ

リーンガイド・シャボンで最高の三つ星に評価された羽黒山杉並木、庄内映画村オープンセットなどを見学し、上越新幹線経由で帰京した。